

一般社団法人山口県医師会平成27年度第11回理事会

平成27年9月3日(木) 午後5時～午後7時29分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・
今村常任理事、沖中・中村・清水・原・船津理事、山本・藤野監事

議決事項

1 平成28年度山口県医師会代議員会について

平成28年度の臨時代議員会を平成28年5月19日、定例代議員会を平成28年6月16日に開催することが決定した。

協議事項

1 中国四国医師会学校保健担当理事連絡会議への助成について

9月26日開催の中国四国医師会連合常任委員会の議題となっている標記の件について、当番県より予めの意向調査があり、助成について賛成である旨の回答をすることが決定した。

2 医療事故調査制度対応への体制について

10月から施行される医療事故調査制度の調査体制の構築において、医療事故発生から医療事故調査への流れを会員に周知することについて協議し、医療事故調査に関する事務連絡に加え、簡易型のフローチャート（掲示用）等を作成し、配付することが決定した。

3 医師会への加入促進対策について

日本医師会では組織強化の一環として、三層（郡市医師会・県医師会・日本医師会）すべての医師会への加入を呼びかけている。今般「都道府県医師会における組織強化に向けた取り組み状況調査」が実施されていることから、本会の対応について協議を行い、本年9月を「会員加入促進強化月間」として、日医未加入会員及び郡市・県医未加入者への加入促進に取り組むことが決定した。

4 児童虐待の発生予防等に関する研修会について

前回理事会で協議・承認された、山口県産婦人科医会と共催の標記研修会について、講師1名の変更があり、承認された。

5 「やまぐち減塩プロジェクト応援サポーター」への登録について

山口県は、今年度から県民の健康寿命延伸に向け減塩対策に取り組むこととし、県と一緒に減塩対策に取り組む団体等を「やまぐち減塩プロジェクト応援サポーター（仮称）」として事業を実施する。本会に対して同サポーターへの登録依頼が

あり、健康やまぐち 21 推進協議会の委員として「やまぐち健康応援団」であることから、同サポーターとして登録することが決定した。

6 日本医療マネジメント学会第 14 回山口県支部学術集会の名義後援について

第 4 回理事会で生じた確認事項について、共催者の支援事項が確認できたことから、名義後援することが決定した。

7 看護職確保・養成に向けた看護教員養成講習会に関する要望について

看護職員は全国的に不足し、山口県においても例外ではなく、第 7 次看護職員需給見通しにおいて、団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年には看護師不足が更に大きな問題となることが見込まれている。また、こうした中、看護職員を養成する看護教員においても将来的に不足が危惧され、医師会立看護学校においても懸念されることから、計画的な看護教員の確保に向け、看護教員養成講習会の定期的な開催、e ラーニングの導入等を山口県知事に要望することが決定した。

報告事項

1 やまぐちスポーツ交流・元気県づくり推進会議（8 月 6 日）

平成 26 年度の県民運動の取組報告及び平成 27 年度事業について協議を行った。
(事務局長)

2 第 1 回自賠責医療委員会・第 81 回山口県自動車保険医療連絡協議会

(8 月 20 日)

交通事故医療における再診時療養指導管理料及び画像診断の撮影部位数等の問題について、損保 10 社及び料率算出機構と協議を行った。(舩津)

3 医事案件調査専門委員会（8 月 20 日）

病院 1 件、診療所 5 件の事案について審議を行った。(林)

4 個別指導「萩市」(8 月 20 日)

病院 1 機関について実施され立ち会った。(萬、清水)

5 地域医療構想策定協議会第 2 回会議

「周南（8 月 20 日）」 「柳井（8 月 26 日）」 「長門（8 月 27 日）」

地域医療構想策定協議会第 2 回会議が 3 圏域で開催された。山口県医療政策課から医療需要の推計結果について説明があり、圏域でカバーできていない機能の整備、回復期の機能（病床）への転換、療養病床から介護施設等への転換等について協議が行われた。(河村、弘山)

6 第 60 回中国地区学校保健研究協議大会（8 月 20 日）

標記大会の会長として、主催者の挨拶を行った。（小田）

7 山口県歯科医師会との懇談会（8 月 21 日）

山口県歯科医師会の役員改選が行われたことから、新三役との意見交換を行った。（河村）

8 第 2 回都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会（8 月 21 日）

「医療事故調査制度の施行を控えた状況について～支援センターの指定と支援団体の大臣告示について等～」(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 大坪寛子 室長)、「医療安全対策委員会中間答申Ⅱについて」(日本医師会医療安全対策委員会 平松恵一 委員長、上野道雄 副委員長) 及び「医療事故調査費用保険について」(日本医師会 今村定臣 常任理事) 等の説明及び質疑応答が行われた。（林）

9 第 26 回全国医師会共同利用施設総会（8 月 22・23 日）

大阪府医師会の担当により、「地域医療構想と今後の医師会共同利用施設－医療、保健、介護・福祉の連携－」をメインテーマに開催された。22 日は、日本医師会の横倉義武 会長による特別講演「日本医師会の医療政策」、医師会病院関係、検査・健診センター関係及び介護保険関連施設関係の 3 つの分科会でのシンポジウムがあり、それぞれ 4 施設から現状報告や課題等の発表が行われた。23 日は、大阪府内共同利用施設紹介、分科会報告の他、全体討議、施設見学等が行われた。次回の総会は、平成 29 年度に大分県医師会の担当により開催される予定。

（小田、原、船津）

10 第 46 回中四九地区医師会看護学校協議会（8 月 22・23 日）

別府市医師会看護専門学校の引受けで開催された。「看護教育のためのパフォーマンス学－ストレスをためずに信頼関係を作るために」(日本大学藝術学部 佐藤綾子 教授)、「地域に根ざした看護教育の実践」(Office Kyo-Shien 池西静江 代表) 等の講演及びシンポジウム、質疑応答が行われた。（加藤）

11 中国四国学校保健担当理事連絡会議（8 月 23 日）

本会の引受けで山口グランドホテルにおいて開催した。日本医師会の道永麻里 常任理事をコメンテーターに迎え、「学校医の関わる健康教育関係」をテーマに、中国四国 9 県から提出のあった議題について意見交換を行った。また、各県から日本医師会への要望について、道永常任理事から回答をいただいた。（藤本・沖中）

12 中国地区学校保健・学校医大会（8 月 23 日）

日本医師会長の横倉義武 先生、山口県教育委員会教育長の浅原 司 氏を来賓に

お迎えし、本会の引受けで開催した。中国 5 県医師会からそれぞれ研究発表が行われ、特別講演 1「平成 28 年度から始まる運動器検診について」（日本臨床整形外科学会 新井貞男 副理事長）、特別講演 2「学校保健の現状と課題」（日本医師会 道永麻里 常任理事）の講演が行われた。出席者 112 名（県内 65 名、県外 47 名）。
(藤本)

13 山口県衛生検査所精度管理専門委員会（8 月 24 日）

平成 26 年度に立入検査を行った 6 検査所の改善報告や衛生検査所精度管理責任者研修会等について協議を行った。（加藤）

14 日医マイナンバー研修会（8 月 26 日）

「マイナンバー制度の概要」（田澤修二 厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室室長補佐）及び「マイナンバー制度への対応」（水町雅子 弁護士・元内閣官房社会保障改革担当室参事官補佐）の講演が行われた。（小田）

15 社保・国保審査委員合同協議会（8 月 27 日）

協議題 5 題、会員からの意見要望 23 項目について協議を行った。協議結果は本会報（ブルーページ）に掲載。（萬）

16 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会山口県実行委員会第 2 回実行委員会総会（8 月 27 日）

来年度開催される標記大会の、競技種目別大会実施要項、山口県医療救護対策要項等について審議が行われた。（小田）

17 臨床研修医交流会（8 月 29・30 日）

1 日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学の永野浩昭 教授による特別講演「どうなる、どうする？！山口の外科そして日本の外科」、「このままでいいのか？！やまぐちの研修」をテーマにしたグループワーク、懇親会を開催した。2 日目は、岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学の小倉真治 教授による特別講演「救急医療の全体最適化」及びグループワークのベストプレゼンテーション賞の発表が行われた。

(加藤、今村)

18 日本医療安全調査機構「医療事故調査制度説明会」（8 月 29・30 日）

「医療事故調査等支援団体から」（日本医師会 今村定臣 常任理事）、「医療事故調査制度の説明」（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 大坪寛子 室長）、「医療事故調査・支援センターから」（一般社団法人日本医療安全調査機構 木村壯介 常務理事）の説明及び質疑応答が行われた。（林）

19 第4回山口県糖尿病療養指導士講習会（8月30日）

講義13「慢性合併症2」、講義14「糖尿病足病変とフットケア」、講義15「特殊な状況・病態時の療養指導」の講義終了後、修了認定試験が行われ124名が受験した。その後、修了式が行われた。（弘山、沖中）

20 医事紛争防止研修会（8月31日）

社会医療法人同仁会周南記念病院において開催した。「医療安全における当院の取組～みんなに期待すること～」(周南記念病院医療安全推進室 河村美江 室長)、「医事紛争の流れと注意事項～1件の民事訴訟を通じて～」(弘田 公 法律事務所 吉岡寛志 弁護士)、「医療紛争の現状と問題点」(山口県医師会 林常任理事)の講演及び質疑応答が行われた。参加者は医師・薬剤師・看護師等医療関係者170名。
(林)

21 山口県男女共同参画推進連携会議（8月31日）

女性活躍促進の取組み強化、第4次山口県男女共同参画基本計画（骨子案）の概要等について協議を行った。（今村）

22 広報委員会（9月3日）

会報主要記事掲載予定（10～12月号）、炉辺談話、歳末放談会、県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。（今村）

23 会員の入退会異動

入会3件、退会1件、異動6件。（9月1日現在会員数：1号1,306名、2号879名、3号416名、合計2,601名）

医師国保理事会 第9回

1 第2回全協中国・四国支部委託研修会について（8月27日）

愛媛県医師国保組合の担当で開催され、マンナंबर制度の導入に向けて、厚生労働省保険局国民健康保険課の愛須通裕 課長補佐の「社会保障・税番号制度について」ほか、4題の講演が行われた。（沖中）